

Ⅰ 国・県の動き



- 令和4年12月
「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」の策定
- 令和5年度から令和7年度の3年間を「改革推進期間」とし、地域の実情に応じて、中学校の部活動を地域に移行していくことを促す
- 国の実行会議において「地域移行」から「地域展開」へ名称を変更
- 新たに、改革実行期間（前期：令和8～10年度、後期：11～13年度）を設定し、期間内に原則すべての学校部活動において休日の地域展開の実現を目指す



- 国の「学校部活動および新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を受け、愛媛県の部活動に関する推進計画を策定（令和5年9月）
- 「運動部活動改革 市町連絡協議会」の開催
- 各市町の協議会等に参加・各市町のヒアリング
- 愛媛県版ロードマップの提示（8月予定）

2 西予市の動き

- 西予市中学校部活動地域移行準備委員会
 - ・ 令和4年度より実施（令和7年度6月までに29回実施）
- 西予市中学校部活動地域移行推進協議会の設置・開催（令和5年度）
 - ・ 本市の部活動地域移行の方向性について協議・検討（年4回実施）
 - ・ 中学校部活動地域移行に係る西予市推進計画の策定（R6.3）
- 地域移行を進めるうえでの判断材料の収集
 - ・ 小学校5・6年生児童、中学校1・2年生徒およびその保護者、小中学校教職員を対象としたアンケートの実施（R5.7）
 - ・ 地域展開アンケートの実施（教職員：R6.7 小1～中2保護者：R7.2 中1～3生徒：R7.5）
 - ・ 地域移行に係る中学校ヒアリング（R6.12）
- 西予市中学校部活動地域移行推進委員会の設置・開催（令和6年度）
 - ・ 令和7年度以降の本市の部活動地域移行について協議・検討（年3回実施）
 - ・ 中学校部活動地域移行に係る西予市推進計画の改訂（R7.3）
- 国の実証事業への申請
 - ・ モデル部活動による地域移行に係る検証（R6:文化部1, 運動部2 R7:運動部2）

3 西予市の現状について(男子運動部)

入部可能部活動：11
(のべ21部活数)

部活動名	三瓶中	明浜中	宇和中	野村中	城川中	合計
陸上競技			34			34
水泳			5			5
バスケットボール			14			14
バレーボール		21	28			49
卓球	19		12	6	7	44
ソフトテニス	17		18			35
サッカー			43	33		76
軟式野球	6	-----	15	15	8	44
柔道			9		6	15
剣道			6			6
相撲				5		5
合計	42	21	184	59	21	327

3 西予市の現状について(女子運動部)

入部可能部活動：11部
(のべ22部活数)

部活動名	三瓶中	明浜中	宇和中	野村中	城川中	合計
陸上競技			15			15
水泳			1			1
バスケットボール	1	-----	12	14		27
バレーボール	14	9	25	19		67
卓球	11		18		8	37
ソフトテニス		6	25	13	14	58
サッカー				1		1
ソフトボール			20			20
軟式野球				1		1
柔道			4		0	4
剣道			14			14
合計	26	15	134	48	22	245

3 西予市の現状について(文化部)

文化部：6部
(のべ9部活動)

部活動名	三瓶中	明浜中	宇和中	野村中	城川中	合計
吹奏楽			20	22		42
箏曲				6		6
美術			39	14		53
茶道			12			12
華道			14			14
創造・創作	21				0	21
合計	21	0	85	42	0	148

※明浜中学校には文化部はない。
 ※美術、茶道、華道、創造・創作については、令和6年度は土日の活動を行っていない。
 ※城川中の創作部については2年連続部員数は0となっている。

4 西予市の地域展開イメージ

部活動	類	運動部						文化部			
	数	三瓶中 6	明浜中 3	男子部 16	女子部 15			三瓶中 1	明浜中 0		
		宇和中 15	野村中 7	男女 5				宇和中 4	野村中 3		
		城川中 5						城川中 1			
	計	36 (男女別は16種類・統一では12種類)						9 (6種類)			

地域展開へ

地域クラブ	類	西予市認定クラブ	その他の市内外クラブ
	認定条件(例)	- 指導に必要な資格を保持した指導者の存在 3人以上の指導者の登録 - 参加料が事務局設定の金額以内 - 学校部活動に準じた休日の設定 - 適切な活動時間の設定 - 市の指導者研修会への参加 etc	
	利点	- 学校施設の優先利用 - 適切な受益者負担額 - 学校備品の使用可 - 施設利用料の減免 - 認定時の補助など - 事務局による周知 - 市の人材バンクへの照会 etc	- 参加者およびその保護者の理解があればクラブの方針で運営可能(参加料・活動日数・活動時間の設定など) - 市外クラブへの参加
	欠点	- 市内で活動するクラブのみ - 複数の条件を満たす必要あり	- 認定クラブのメリットが受けられない - 受益者負担が大きくなる可能性
	入団体受	☐ 総合型スポーツクラブ ☐ 社会体育クラブ ☐ 競技連盟 ☐ 文化・芸術団体 ☐ 部活動から移行した(教職員が主に運営する)クラブ ☐ その他	

最低でも市内で12+6+18種類の受け入れ先は整備する方向で動きたい。

45部活動の受け入れ先を意図することは難しい。生徒数が減少する中である程度絞る必要は出てくるのでは。

5 アンケート結果より

中学校部活動地域移行 に係るアンケート結果

調査対象:市内保護者(小1～中2)

実施方法:Googleフォームを利用

調査期間:令和7年2月26日(水)～
令和7年3月12日(水)

回答者:458人

調査対象:市内中学校1～3年生

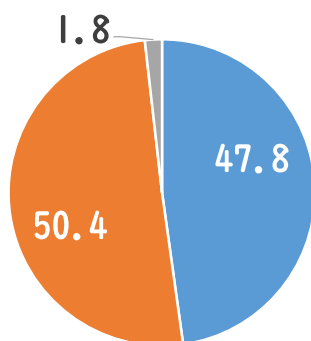
実施方法:Googleフォームを利用

調査期間:令和7年5月2日(金)～
令和7年5月22日(木)

回答者:636人

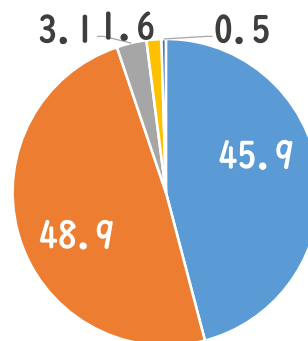
現在市内の中学校では、全員部活動制となっています。全員部活動制の考えを教えてください。

保護者



終了したほうが良い	219人	47.8%
現状のままで良い	231人	50.4%
どちらでもない	8人	1.8%

中学生



終了したほうが良い	292人	45.9%
現状のままで良い	311人	48.9%
その他	20人	3.1%
帰宅部を作る	10人	1.6%
どちらでもよい	3人	0.5%

全員部活動制を「終了したほうが良い」と考える理由（保護者）

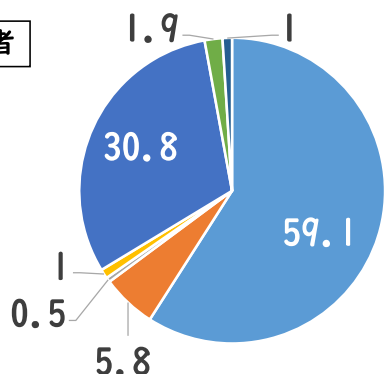
- ・ クラブチーム所属の人が部活にも所属しないといけないということも改善していけたら良いのではと思います。
- ・ 小学生の頃からクラブチームに入り活動している生徒に対しては選択肢があっても良いと思う。
- ・ 部活動以外の活動や家庭学習の多様化により、部活動を強制する必要はないと感じるため
- ・ 教員、生徒、保護者の負担軽減の為
- ・ 地域クラブに参加になれば学校の部活は不要
- ・ 独自に興味ある分野がある場合、そちらに時間を割けなくなる。そもそもなぜ部活を強制されなければいけないのかも理解できない。
- ・ 保護者が土日祝と仕事の家庭も多くあり、練習試合などに協力できないことも親としても苦しい。
- ・ 部活の種類と質が担保されていないのに強制して入ることによる子どもへの悪影響が大きい。
- ・ 自分で選べない部活動（選択肢のない）で3年間も活動したくないと親でも思えるから。子供がやりたくないことに試合の送迎やお金を出してまでサポートしたくない。
- ・ 部活をしないという選択肢があってもよいと思うから。
- ・ 部活の強制は良くないと思う。それを、苦痛に感じる子も中にはいると思います。
- ・ クラブチームとの両立をしていますが、時間的にも金銭的にも厳しいです。
- ・ 少ない選択肢の中から部活動を選ばせるよりも、市内外の多様な習い事やクラブから本当に自分が興味のあるものを選択する方が、子供達にとっては良いと思うし、10代の良い時間の使い方だと思う。
- ・ 本来の学校主導の部活動なら教育の一環として捉えているので、中学までは全員してほしいと思っている。ただ地域移行したならばその意味も薄れてくると思うので、全員強制はすべきではないと考える。

全員部活動制を「終了したほうが良い」と考える理由（中学生）

- ・ クラブなどに通っている人はクラブと部活の両立が難しいし、あまり部活に行くことができない人でも部費を払わないといけないのはどうかと思ったから
- ・ 習い事など他にやりたいことがある人がいるかも知れないから
- ・ 部活に行きづらい人が助かるから
- ・ 保護者への負担がかかるから
- ・ クラブチームに所属していて部活動を中途半端にしていると迷惑がかかってしまうから。
- ・ クラブに入っている人が文化部などの部活動に入って、本当に文化部の部活動を頑張りたいと思っている人に失礼だと思うから
- ・ したくない部活でも強制的に入らないといけないし、人数が少なくて大変だから
- ・ その人がやりたい部活がない状態で無理に部活に入っても楽しくないし、それが理由に学校が来れなくなってしまうかもしれないから
- ・ 部活動をしたくない人や、勉強を進んでしたい人もいるから
- ・ 運動が苦手という人にまで無理にやらせるのはあまり良くないと思ったから
- ・ 剣道部は現在も地域移行をお試してしていますが、やはり1年生のときより先生方の負担も減っていると思うし、技術面で本格的な指導が受けられるからです。
- ・ 私は、全員部活制と言われたので水泳をやめたけど、私の後輩には習い事など自由にしてほしいから
- ・ 自分のやりたいと積極的に思える部活がない場合、無理やりするのも違うと思うから。その時間を他の得意なことを伸ばす時間にしたほうが良いと思うから。
- ・ 自由に自分のやりたいことを学校の部活に縛られずにすることができ、なおかつ先生方の負担もなくなるのならば全員部活動制は終了した方が良い。

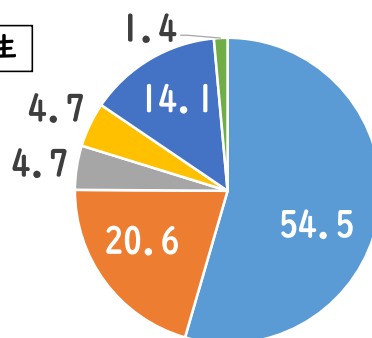
終了したほうが良いと回答された方で、終了時期はどのぐらいが適切であると考えますか。

保護者



できるだけ早く	123人	59.1%
令和8年度から	12人	5.8%
令和9年度から	1人	0.5%
令和10年度以降	2人	1.0%
地域移行と同時	64人	30.8%
その他	4人	1.9%
わからない	2人	1.0%

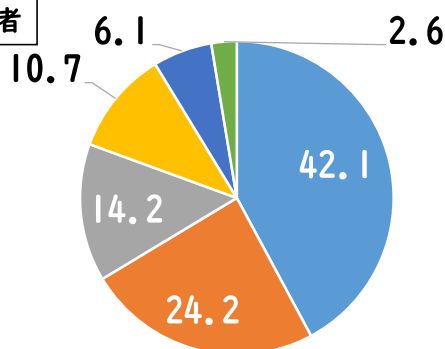
中学生



できるだけ早く	151人	54.5%
令和8年度から	57人	20.6%
令和9年度から	13人	4.7%
令和10年度以降	13人	4.7%
地域移行と同時	39人	14.1%
いつでもいい	4人	1.4%

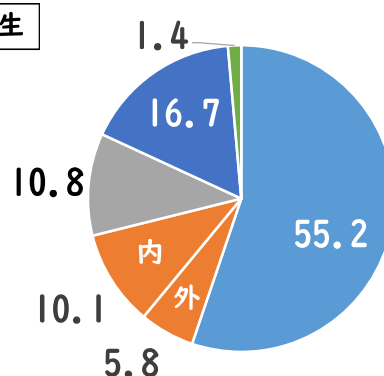
全員部活動制が終了した場合、どのような活動をさせたい(したい)と考えていますか。

保護者



部活動に所属させたい	193人	42.1%
地域文化・スポーツクラブ	111人	24.2%
学習塾などの習い事	65人	14.2%
子どもがやりたいこと	49人	10.7%
特になし	28人	6.1%
その他	12人	2.6%

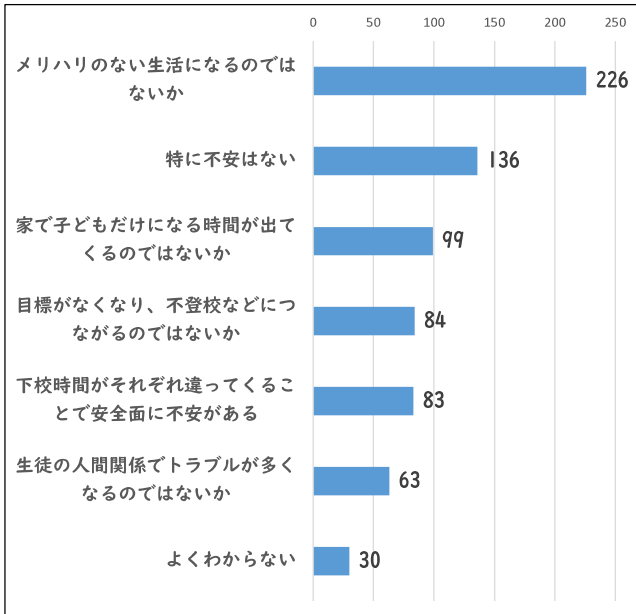
中学生



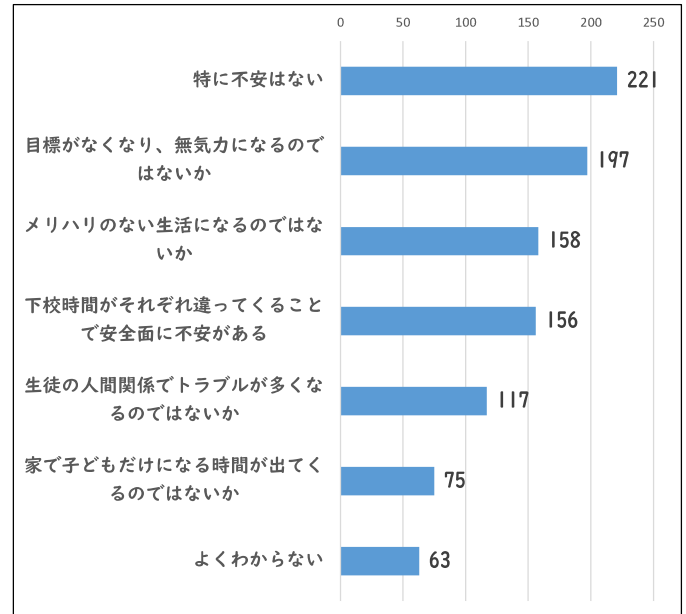
部活動に所属したい	351人	55.2%
市外の地域文化・スポーツクラブ	37人	5.8%
市内の地域文化・スポーツクラブ	64人	10.1%
学習塾などの習い事	69人	10.8%
特になし	106人	16.7%
その他	9人	1.4%

全員部活動制が終了した場合、どのような点に不安を感じますか。

保護者

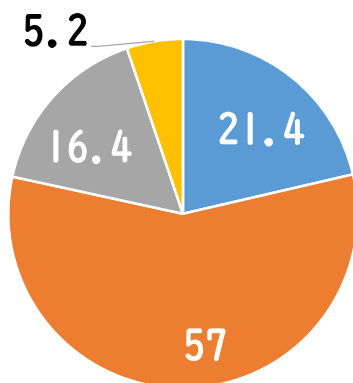


中学生



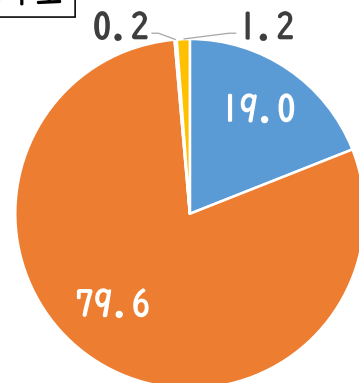
西予市の休日の拠点校方式による部活動についての考えを教えてください。

保護者



賛成	193人	21.4%
どちらかといえば賛成	111人	57.0%
どちらかといえば反対	65人	16.4%
反対	49人	5.2%

中学校1・2年生



在籍校にはない部活動で活動してみたい	80人	19.0%
今の部活動でそのまま活動したい	336人	79.6%
どちらの気持ちもある	1人	0.2%
その他	5人	1.2%

地域展開に係る意見（保護者）

- ・運動部の事が議論されることが多いと思いますが、文化部はどうなるのでしょうか？
- ・地域の指導者のみに任せた活動になることに不安がある。学校がどこまで関わってくれるのか？子どもたちの健全育成に資する活動をキープできるのか？保護者負担(送迎や金銭面)がどれくらい増えるのか？
- ・これからもっと子供が減ると思うので、もっと先を見据えた判断をしてほしい。
- ・地域や種目によって指導者確保の可能性は様々だと思うので、一律に考えるのは難しい。また、生徒の成長に部活動が果たしてきた役割も大きいと思う。思春期の生徒を相手にする指導者の資質も問われるだろうし、部活を指導したくて教員になった先生もいると思うので、いろんなパターンを模索しながら進めてもらいたい。子供達が体を動かしたり趣味を広げたりする機会が減らないといいなと思う。
- ・現状ではどこにどのようなクラブがあるなどの情報が不透明であるため、一覧などがあればわかりやすい。
- ・地域移行にすることで、経験のある方が指導することでレベルアップに繋がるのであれば良いと思う。
- ・地域移行について、先が見えず不安です。地域移行について、早く明確にして欲しいです。
- ・クラブチームで頑張っている子が中学校では全く評価されていないのが残念。
- ・選択肢が増えるかもしれませんが、寮生や家庭の事情で部活ができなくなる子が出てくると思います。
- ・公共交通機関が少ないので、送迎が保護者負担となるのはしんどい。夏休み中など送迎できないこともあると思う。最低でもスクールバスによる中学校間の送迎が必要だと思う。
- ・どの種目から取り掛かるのか、またその際の判断基準は何なのか保護者に提示してほしい。
- ・吹奏楽を専門でご指導いただける外部の方を募集していただきたいなと思いました。将来音楽に進みたい方が松山までレッスンに通っていると聞きまして、南予で学べるようにできれば、高校も南予に進学希望するのではないかなと思いました。

地域展開に係る意見（保護者）

- ・現状の西予市では少子化に歯止めが効かず、そのような背景がある中で、ある程度の人数がいないと成り立たない部活を置き続けるのも逆行していると思いますし、少人数でも田舎であることにも左右されないような新たな部活を配置すべきだと思います。また、地域移行とするならば、クラブ指導者も資格のいる時代です。資格取得の講習会やサポート、研修等も先を見て考えてやっていただきたい。
- ・移行後、うまくいかなければ責任持って別の対応をしっかりと考えてほしい。
- ・学校、教員の負担は減って保護者の負担は増える。送迎できる家庭ばかりではないと思う。
- ・学校の部活動に親が随時関与しないといけないのであれば、部活動はなくていいと思う。
- ・技術面だけでなく人として大切なところをきちんと育ててもらいたい。子どもを育てる力のある方に関わってもらいたい。地域移行するクラブチームやコーチなどは誰がどのような基準で決定し委託するのか？
- ・強くなりたいと努力している子供たちに、田舎だから、少子化だからと諦めさせたくありません。やる気のある子供たちのために、出来ることは実現させてあげてください。
- ・教員の方々のご負担を軽減することは、結果として、子どもたちへの愛情や教育の質向上に繋がると思います。
- ・経済的に困難な場合、スポーツや文化などにふれることができない子供が不憫です。費用の補助はありますか？
- ・部活動のおかげで経済的にも時間的にも保護者の負担が少なく 子供達にたくさんの経験をさせていただいています。保護者の状況で(経済的な負担や送迎等)子供たちの選択肢が少なくなれば良いなと感じます。
- ・今回の移行は子供達にとって、有意義に繋がり良く感じます。そのためにも、しっかりと案を練り説明会を行なって頂きたいです。

地域展開に係る意見（保護者）

- ・指導者の指導方法の徹底や適正。その競技ができるのと指導できるのは違う。信頼が損なわれることがあった場合の対応やその窓口はどうするのか？指導者の変更や剥奪などはどう考えてるのか？
- ・人間関係のトラブルにどう対応するのか具体的な案を示してほしい。
- ・人口減少、少子化からきた問題だと思います。それに伴い致し方ないところですが、この話が教育委員会や学校内で進んでおり、地域にあまり降りてきてない感じがします。そこが不安です。
- ・西予市の中でも生まれた地域の学校によってやりたい部活がないなど子供達の選択肢が狭まれている気がします。一つの学校単位で人数が確保できない時代になっているので、スクールバスの利用などで、学校単位で考えず、市単位で広くとらえ、子供達が西予市の5町の好きな部活に所属できる環境を作ってあげてほしいです。
- ・先生方は部活動の負担軽減、生徒たちは専門の指導者に指導してもらえるため、互いに良い方向に進めば良いと思います。
- ・地域の負担増にならないよう、委託料、活動費を含めたサポートは必要である。
- ・地域部活動は反対です。義務教育で教えてもらうことで、子供たちも考えながら学ぶことができる。地域移行になるとやりたい人だけとなり、地域も人材不足で継続もできない。学校の統廃合、編成を行い、先生を集約し1人で顧問を持たない体制を作り、先生の負担軽減を図り、保護者（地域）の協力をもらい、普段の部活のサポートに入ってもらい、学校の部活動として維持してもらいたい。学校の先生が大変な事は十分承知していますが、素晴らしい先生方がいらっしゃるの、先生の指導の元、子供達を学ばせたいです。
- ・部活動は廃止か学校から切り離すべき。

地域展開に期待すること（中学生）

- ・保護者に相当負担がかかるので地域展開自体やめてほしい。そのまま部活を続けたい。今までとは違う形になって不安が出てくるとし、今の顧問の先生の指導の方が良い。
- ・これを機にスクールバスを利用できるようにしてほしい。できるだけ移動に時間がかからないようにしてほしい。私の親は平日の送迎や、休日の送迎が毎回できるという仕事ではないので、もし、地域移行になったら、スクールバスの送迎をつけてほしいです。
- ・活動費の一部を寄付か、市のほうで負担していただきたい。お金がかかるから、補助金を出してほしい。
- ・ちゃんとした練習場所を用意してほしい。
- ・どの部（クラブ）にも平等に指導者がいたら嬉しいです。
- ・西予市にいろんなクラブチームを作ったらいいと思う。
- ・すべての生徒が自分のやりたいこと、好きなことができるようになってほしい。
- ・eスポーツの部活動を作してほしい。学校ではすることのできないような活動もできるようになること。
- ・いろんな人から教えてもらうことで、自分の技のレベルがアップしたりもっと上達するたくさんの人と交流したりできる。
- ・できれば部活動の休みの日を増やしていただけると幸いです。
- ・もっと専門的に学べるという点に期待できるかなと思います。
- ・みんなが地域の人と関わりを持てるようになったらいい。たくさんの人と交流できるのではないかと思います。他の地域の人とも交流ができるから他の地域の魅力を知れると思う。
- ・先生たちもクラスを持っている場合疲れていると思うからクラブや社会体育などであることを望む。
- ・大会や試合などはなくならないでほしい。
- ・部活動を通して成長できることもあるので、その点に関しては地域移行をしても、たくさん後輩たちには成長してもらいたいです。

6 合同部活動と拠点校方式による部活動について(案)

- 【合同部活動】

 - 愛媛県中学校総合・新人体育大会に関する合同チーム編成規定に従い、必要に応じて合同部活動を行う。
 - ・ 合同チームの編成は個人の部をもたない競技の団体の部において編成を認め、バスケットボール、サッカー、軟式野球、バレーボール、ソフトボール(ハンドボール、ラグビー)とする。出場最低人数を下回った場合のみ合同チームを編成することができる。
 - 合同部活動を実施しても団体必要人数に満たない場合については、以下のいずれかの対応を行う。
 - ・ 部活動として活動はするが、大会は出場最低人数を上回るまでは参加しない。
 - ・ 今後の生徒数や職員数、地域展開の推進状況を鑑みながら、部活動の廃部を検討する。
- 【拠点校による部活動】

 - 拠点校部活動は在籍校にない部活動への参加とし、移動については、保護者送迎とする。
 - 原則、西(宇和・三瓶・明浜)と東(野村・城川)の2ブロック制で行う。
 - 市内に1つしかない部活動を希望する場合は、ブロックを越えての参加も可とする。
 - ・ 平日の参加が難しい場合は、平日の活動は強制をせず、自主練習とする。ただし、学校管理下外であるため、見守り教員は配置せず、学校施設は利用できない。(所属校に異性の部活動があるときはこの限りではない)希望者およびその保護者には、上記の条件に同意のうえで、申込書を提出してもらう。
 - 所属する部活動はこれまで通り1つのみとし、休日だけ拠点校部活動に参加するなどの例外は認めない。
 - 新1年生については、令和8年度4月から実施する。拠点校方式による部活動への参加による2年生の部活動変更を認めるが、総体に向けて行ってきたチーム作りに影響が出る可能性があるため、転部を認める時期を総合体育大会終了後とする。
 - 拠点校からは「拠点校部活動実施申請書」を、対象校からは「拠点校部活動参加申請書」を、保護者からは「参加申込書兼同意書」を提出してもらう。

7 今後の動きについて

種	年	月	項目	留意事項
方針決定	R7年度	7	・第1回推進協議会 → 定例教育委員会への報告	・ロードマップ(案)の提案
		8 ～ 9	・第2回推進協議会 → 定例教育委員会への報告 ・ <u>愛媛県版ロードマップ(案)の提示</u> ・ <u>国より地域クラブ認定条件の提示(予定)</u>	・第1回協議会をもとにした協議 ・部活動地域展開に係る市町連絡協議会 ・国の実行会議スケジュールより
		10	・第3回推進協議会 → 定例教育委員会へ提言	・ <u>ロードマップ完成</u> ・R7実証事業中間報告
		11	・第4回推進協議会(<u>予備</u>)	・ロードマップ等未完成の場合は最終協議
		12	・地域展開に係る全体説明会 ・部活動に係る説明会(全員部活動制・拠点校など)	・教職員、保護者、地域 ・小学校6年生～中学校2年生
		1	・説明会を経ての修正案を再度教育委員会へ提言 ・実証事業終了	・説明会での意見をもとに修正 ・1月31日まで
準備		2	・実証事業 国への報告 ・次年度の部活動体制・地域展開に係る準備	
		3	・次年度の部活動体制・地域展開に係る準備	
推進	R8年度	4～	・ロードマップに準じた推進 →全員部活動制・拠点校方式による部活動など ・推進協議会	・ロードマップはその都度修正